

いしおか

市議会だより



市民・行政・議会が

一体となつたまちづくりを



副議長
塚 谷 重 市



議 長
磯 部 延 久

まいりますので、どうぞよろしく願っています。

長引く日本経済の景気低迷に加え、大震災の被害を受け、石岡市におきましても、これまで以上に厳しい行財政運営が求められるものと考えております。

議会といたしましては、市民生活の安定に向けまして、市執行部と議論を重ねながら、議会の権能を発揮していくことが、私たち議員の役割であり、使命であると考え、市民の皆さま方の視点を大切にし、職務に全力を傾注する決意でございます。

市民・行政・議会の三つの絆の一つのごくまちづくりを進め、元気な石岡市をつくりたいと考えておりますので、どうか、今後とも市議会に對しまして、ご支援とご理解を賜りますようお願いを申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

3月11日に発生いたしました東日本大震災により、被害を受けられました皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

さて、5月18日に開催いたしました第1回石岡市議会臨時会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、第4代石岡市議会議長および副議長に就任いたしました。今後とも、市民の代表として信頼される議会を目指して、様々な課題に取り組んで

第29号

ぎかい
広報紙

平成23年6月15日発行

かを築きます



山口 晟
三 村



高野 要
東府中



前島 守雅
三 村



鈴木 行雄
東大橋



池田 正文
国府 7



菱沼 和幸
貝地 2



岡野 孝男
上 曾



塚谷 重市
小 幡
[副議長]



谷田川 泰
東府中



小松 豊正
総社 2



大槻 勝男
真 家



村上 泰道
旭台 3

市民の皆さまと共に 明日のいしお



島田 久雄
嘉良寿理



磯部 延久
旭台3
[議長]



徳増 千尋
茨城2
[議会選出監査委員]



鈴木 米造
瓦谷



山本 進
国府2



岡野 佐工
小屋



関口 忠男
根小屋



関 昭
柴内



玉造 由美
真家



岡野 孝雄
大砂



野口 伸隆
井関



勝村 孝行
柴内

第1回定例会

平成23年度各会計

当初予算を原案のとおり可決

2月から3月にかけて開催されました第1回定例会では、「平成23年度石岡市一般会計予算」をはじめとした各会計の新年度予算など計38議案が、市当局から提出されました。（左ページ参照）

●予算特別委員会

平成23年度の各会計予算については、集中して

審査をするために3月3日～10日の6日間にわたり予算特別委員会を開催しました。（予算特別委員会での主な質疑は12、13ページ参照）

委員会での審査、採決の結果、付託された各会計予算はすべて、起立多数あるいは全会一致で、原案のとおり可決されました。

平成23年度石岡市各会計の歳入歳出予算額

会 計 名	歳入歳出予算額
一 般 会 計	287億8,000万円
授 産 所 特 別 会 計	2,340万9千円
国民健康保険特別会計	90億3,444万1千円
簡易水道事業特別会計	1億1,543万7千円
下水道事業特別会計	24億4,643万7千円
駐 車 場 特 別 会 計	2,090万6千円
農業集落排水事業特別会計	3億4,291万2千円
霊 園 事 業 特 別 会 計	2,290万3千円
介 護 保 険 特 別 会 計	52億8,876万9千円
介護サービス事業特別会計	2億9,254万9千円
後期高齢者医療特別会計	6億3,380万5千円
水 道 事 業 会 計（支出）	8億6,019万2千円

第1回臨時会

新議長・新副議長が選出される

4月24日に行われた石岡市議会議員一般選挙により24名の石岡市議会議員が誕生しました。

（2・3ページ参照）

5月18日には、議員全員による請求に基づき、市長により第1回臨時会が招集されました。この臨時会は改選後初の議会

今回、提出された各議案については、本会議や

予算特別委員会、各常任委員会の中で、さまざまな角度から審査を行いました。討論では、予算案の内容に一部反対するとの意見が出ましたが、採決の結果、付託されたすべての議案について、起立多数あるいは全会一致で、原案のとおり可決しました。



であることから、議長並びに副議長選挙が行われました。

投票の結果、新議長に磯部延久氏が、新副議長に塚谷重市氏が選出されました。併せて、各常任委員会・議会運営委員会委員の選任が行われました。（16ページ参照）

また市長から、3月11日の東日本大震災による災害復旧のため、専決処分された各会計補正予算（総額15億3,473万円）の承認を求める議案など12件の議案が提出されましたが、議会はすべての議案について、起立多数あるいは全会一致で承認（原案可決・同意）しました。（左ページ参照）

新正副議長のプロフィール

議長 磯部延久氏



旧石岡市議会時代の平成11年から、合併後の現在の石岡市議会まで4期連続の当選。合併前は総務企画委員長、新市誕生後は副議長、総務委員長などを歴任した。議長職に就いて「市民・行政・議会の三つの絆を一つのごとくまちづくりをすすめる、元気な石岡市をつくっていききたい」と抱負を力強く語る。座右の銘は「有言実行」。

昭和15年生まれの70歳。旭台三丁目在住。

副議長 塚谷重市氏



旧八郷町議会時代の平成12年から、合併後の現在の石岡市議会まで4期連続の当選。新市誕生後は市民経済委員長として農業や観光行政などに取り組み、また、議会運営委員長として議会の円滑な運営に尽力した。副議長職に就いて、「開かれた議会を目指し、市民の方々から信頼されるよう努力していきたい」と語る。座右の銘は「誠心誠意」。

昭和23年生まれの62歳。小幡在住。

市長・議員提出議案の審査結果

第1回 定例会 *第1回定例会(2月22日～3月16日)で審査した市長提出議案の結果は次のとおりです。		
議案第 1号	平成23年度石岡市一般会計予算	原案可決
議案第 2号	平成23年度石岡市授産所特別会計予算	原案可決
議案第 3号	平成23年度石岡市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第 4号	平成23年度石岡市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第 5号	平成23年度石岡市下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第 6号	平成23年度石岡市駐車場特別会計予算	原案可決
議案第 7号	平成23年度石岡市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第 8号	平成23年度石岡市霊園事業特別会計予算	原案可決
議案第 9号	平成23年度石岡市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第10号	平成23年度石岡市介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第11号	平成23年度石岡市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第12号	平成23年度石岡市水道事業会計予算	原案可決
議案第13号	平成22年度石岡市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第14号	平成22年度石岡市授産所特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第15号	平成22年度石岡市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第16号	平成22年度石岡市下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第17号	平成22年度石岡市駐車場特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第18号	平成22年度石岡市老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第19号	平成22年度石岡市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第20号	平成22年度石岡市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第21号	平成22年度石岡市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第22号	石岡市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の臨時特例に関する条例を制定することについて	原案可決
議案第23号	石岡市教育長の給与、勤務時間及びその他の勤務条件に関する条例の臨時特例に関する条例を制定することについて	原案可決
議案第24号	石岡市特別会計条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第25号	石岡市手数料条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第26号	石岡市基金条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第27号	石岡市基金条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第28号	石岡市医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第29号	石岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第30号	石岡市環境基本条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第31号	石岡市消防団条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決
議案第32号	土地の処分について	原案可決
議案第33号	指定管理者の指定について(石岡市まちかど情報センター)	原案可決
議案第34号	土浦石岡地方広域市町村圏協議会の廃止について	原案可決
議案第35号	石岡市簡易水道事業の事務委託について	原案可決
議案第36号	市道の変更について	原案可決
議案第37号	区域外道路(かすみがうら市道)の路線認定の承諾について	原案可決
議案第38号	核兵器廃絶平和都市宣言について	原案可決

第1回 臨時会 *第1回臨時会(5月18日)で審査した市長・議員提出議案の結果は次のとおりです。		
議案第39号	専決処分に対し承認を求めることについて(平成22年度石岡市一般会計補正予算(第7号))	承認
議案第40号	専決処分に対し承認を求めることについて(平成22年度石岡市簡易水道事業特別会計補正予算(第4号))	承認
議案第41号	専決処分に対し承認を求めることについて(平成22年度石岡市下水道事業特別会計補正予算(第5号))	承認
議案第42号	専決処分に対し承認を求めることについて(平成23年度石岡市一般会計補正予算(第1号))	承認
議案第43号	専決処分に対し承認を求めることについて(平成23年度石岡市下水道事業特別会計補正予算(第1号))	承認
議案第44号	専決処分に対し承認を求めることについて(平成23年度石岡市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号))	承認
議案第45号	専決処分に対し承認を求めることについて(平成23年度石岡市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号))	承認
議案第46号	専決処分に対し承認を求めることについて(石岡市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第47号	専決処分に対し承認を求めることについて(石岡市税条例の一部を改正する条例)	承認
議案第48号	工事請負契約の締結について(H22国補 石岡市立東小学校屋内運動場建築工事)	原案可決
議案第49号	工事委託契約の締結について(平成23年度市道B8679号線(仮称)八郷・新治線)道路整備事業(トンネル本体工事)	原案可決
議案第50号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議員提出 議案第 1号	石岡市議会委員会条例の一部を改正する条例を制定することについて	原案可決

循環型社会の形成について

どう取り組んでいくのか



ひろ ちくま 尋 増 徳

問 循環型社会の形成に向けて、一般廃棄物処理基本計画策定の状況について伺います。また、資源ごみの分別回収（紙製・プラスチック製の容器包装、白色トレイ等）について、何年か後には処理場の炉の建設をするか、延命計画を立てなければなりません。そのような中、ごみ処理との関係から、細かく分別するのであれば、今から周知徹底させなければ間に合わないと思います。市としてどのように取り組むのか。超寿命計画であれば、新しい施設をつくるのであれば、大変金額のかかるものですが、財政的にはどうなのか、伺います。

答 一般廃棄物処理基本計画の策定には、長期的な展望を要しますので、広域処理の枠組みが進展した時点で、ごみ処理の行政区域内におけるごみ排出量の見込みに対応した基本計画を作成したいと考えます。分別収集については有利な点もありますが、分別には種類、収集時間、処理施設等の対応や、収集方法、集積場所の広さなど数々の課題があり、さらなる細分別により、スムーズな収集体制や市民生活に支障を来たしてしまうおそれがありますので、細分別は今のところ考えてはいません。予算については、現在のところ各年度の維持管理までの協議なので、今後、構成市の企画、財政担当と現場の担当も含めて検討していきたいと考えています。

●その他の質問事項
●中心市街地活性化
●人事評価、研修、適材適所の人員配置

住宅リフォーム助成制度について

住宅リフォーム助成制度について、現行では省エネ分野や介護分野の事業がありますが、石岡市独自に、健康な高齢者を支援する助成制度として、高齢者が自立した生活を続けられるよう、小規模、少額なトイレや浴室などのバリアフリー等のリフォームに一定額の補助金を支給できるように制度を導入していただきたいと思っています。その際、基準の1つとして施工を市内の登録業者に限定すれば、経済波及効果も生まれると思います。併せて現行制度の普及啓発につ



すすむ やまもと 進 本 山

いて、具体的にどう展開していくのか、伺います。

答 市内には高齢で、かつ健康な方々が多くおられます。そのような方々に今後、どう対応していくことができるかについては、少し検討をしていきたいと考えます。現行制度の中では、23年度予算に計上する木造住宅耐震改修補助制度は、いわゆる室内のバリアフリー化のための改修工事費も含まれますので、この制度で対応していただければと考えます。要介護認定者及び要支援の方々への住宅リフォーム啓発の方法としては、サービスを受ける際のケアマネジャーを介した事業の周知を考えています。住宅リフォーム支援については、住宅改修を必要としない介護予防の充実を図りながら、住宅改修を必要とする方々に対する、適切なサービスの利用促進に努めたいと考えます。

●その他の質問事項
●環境対策について

「ご当地ナンバープレート」を作ってみてはいかがか



いちろう むらかわ 川 村 良 一

問 名所や名物をデザインしたご当地ナンバープレートが、各地で続々と誕生しています。125CC以下のバイクなどのナンバーは、地方税の課税を示す標識として、市が独自に制定できます。ご当地ナンバープレートは、少ない費用で高いPR効果が見込め、地元への愛着も広がっていくものと考えます。石岡には観光名所やおまつりがあります。そこで、単にこういったナンバーを作る、それでいいのではなく、やはり市民の方々と一緒に、お金が若干かかっても、どう石岡市をアピールできるか、どうアピールしたら効果が上がるかを考え、いいものをつく

り上げていくことが大事だと思います。ご当地ナンバープレートについて、本市ではどのような構想を持つのか、伺います。

答 ご当地ナンバープレートは、全国的に導入する自治体が増えており、その地域の特性を生かしたデザインを採用していることから、住民の方に親しみを持たれ、自治体のPRに貢献していると聞いています。当市としても、当地の特長を生かしたデザインのナンバープレート導入を積極的に進めたいと考えます。新年度には、今考えているデザイン等をもとに、登録台数の多い50CCの原付に導入していきたいと考えています。ただ、人によっては、現行のナンバープレートのほうが良いという方もおられると思いますので、当分の間は併用を考えています。

リーディングプロジェクト 市民との協働まちづくりについて

説明会などの情報提供が大切と思いますが、どうお考えか伺います。

●その他の質問事項
●暴力団排除条例

問 協働のまちづくりについて、これからのまちづくりは、市民と行政が一緒にまちづくりに参画し、責任を持ちながら、誇りあるまちをつくるべく、いくことが求められていますが、これには、現在薄れている地域コミュニティの強化が重要ではないかと思えます。地域コミュニティは自治組織の充実、区長さん方の協力、対話によって向上します。そこで、石岡市の目指す協働の姿はどういうものか。また、どのように市民へ周知、啓発を行うのか。市民の理解や協力を得るためには、やはり説明会などの情報提供が大切と思いますが、どうお考えか伺います。

答 活力ある、個性を持った地域づくりを進めるためには、どのようなまちづくりをしていくのか、自らが責任を持つことが求められます。これからのまちづくりに関しては、市民からの要望に応じていく受け身の行政から、市民と行政が一緒に協力し、何をすべきかを考え、ともに行動する積極的な行政になることが必要と考えます。さらに、協働のまちづくり推進のため、地域づくりの中心的な人材として、まちづくりコーディネーターの育成や、定年退職された方々など、人材の発掘を進めたいと考えています。情報は、市の広報等を通して積極的に提供するなど、市民の理解と協力を得ながら取り組みたいと考えています。



せき けん ぐち ただ お 関 口 忠 男

福祉行政について

高齢者世帯への支援は

て、本市での支援の考え方について伺います。

●その他の質問事項
●人口減少対策
●教育行政
●観光行政
●市民との協働

問 高齢者やひとり暮らし世帯等に対して、見守りの観点から、独居世帯に無料で新聞の配達を行う自治体があるようです。その効果が見られる中、本市の同様のサービスについて、その内容を伺います。また、住宅火災警報器について、一般家庭における装着率がまだまだ低いとのことですが、特に高齢者世帯に對しての設置支援方法を具体的に検討しているのか伺います。また、買い物等の外出が困難である方々について、本市での支援の考え方について伺います。

答 ひとり暮らしの高齢者等を対象に、安否確認を兼ねて週2回、乳製品を無料配達する愛の定期便事業。自ら調理することが困難な方々を対象に昼食を配達する配食サービス事業。自宅の電話機からボタン1つで消防署に連絡できる緊急通報システムの貸与事業を実施しています。住宅火災警報器の設置支援として、現在、石岡市日常生活用具給付事業がありますが、利用率は大変低い状況です。買い物等の支援として、介護保険における訪問介護サービス等や、障害者自立支援法に基づき、同様のサービスを営んでいます。また、介護保険制度の地域支援事業を活用して、生活管理指導員を派遣し、買い物を含めた日常生活や支援・指導を行う生活管理指導事業を、平成23年度より実施する予定です。



むら かみ やす みち 村 上 泰 道

柿岡中・八郷南中・有明中 統合に伴う通学路の整備について

●その他の質問事項
●新しい収納体制

問 柿岡中、八郷南中、有明中の統合に伴う生徒の通学路等の整備について、これは2か年にわたる事業で、25年4月に統合校がスタートします。しかし、通学路となる県道、市道に危険箇所が見受けられます。この市道について、23年度の整備は考えられないので、24年の単年度で危険箇所を整備することになると思いますが、それでは期間が非常に短いです。予算の関係や、完全に安全対策をとれるかなど、なかなか簡単ではないと思いますが、どうお考えか。それと併せ、柿岡中への北側からの進入路が必要だと思いますが、その計画があるのか伺います。

答 3中学校の統合については、統合検討会を設立し、平成25年4月の統合に向けて、統合の基本的な事項が検討されています。現在は、通学に関する専門部会を立ち上げ、通学路の決定や危険箇所の調査及び対応、そしてスクールバスの運行などについて検討していただくこととなっています。特に、危険箇所については、状況に応じた順位付けなどを行い、関係部局と連携を図りながら取り組みたいと考えています。新たに通学路が一定距離以上の生徒に対しては、基本的にはスクールバスの利用を考えます。また、統合中学校への進入路は、現在の正門のほかに、敷地の北側の上林・上曽線からの進入路も計画していきたいと考えています。



おか の たか お 岡 野 孝 男

防災無線の整備について

市民の生命・財産を守るために



ひし ぬま かず ゆき
菱 沼 和 幸

基金を積んでも整備すべきと思いますが、どうお考えか伺います。

問 市長所信には「市民の生命や財産を守り、安心して暮らせる環境を整えるため、防災や防犯に関する事業に取り組んでまいります」とありますが、市の財政は厳しい状況ですが、私は以前から、防災無線の整備充実が重要課題ではないかと思いますが、質問をしてきました。整備には5億円強と多額の費用がかかるので、それを捻出するのは非常に大変かもしれません。しかし、いつ起こるか分からない災害に対し整備することで、多くの方々に情報が伝達でき、それが安全の確保につながっていくものと思います。防災無線の整備は優先順位の高い事業と考えます。

答 安全安心のまちづくりを進めるために、市民の生命、財産を守ることが最重要課題であることは、十分認識しています。防災無線については、平成22年度の調査により、現時点では当市には同報系による防災無線の整備が最適との結果が出ました。その整備費は、技術革新が進む中で年々低減しています。また県からも、ある程度の支援策が打ち出されています。しかし、このシステムでもまだ難聴地域等の問題が数多く残されていることから、さらに整備のあり方を調査研究するなど、整備の実現に向け、取り組んでいきたいと考えます。

その他の質問事項
●買い物弱者●うつ病対策●緊急医療体制●子ども救命士●成人式●NPO育成●都市宣言



すず き よね ぞう
鈴 木 米 造

問 茨城県の土地である八郷高校の跡地について、石岡市はどのように考えているのか。私は先日、駅の関係で岩手県に視察に行きましたが、そこでは今、医師が足りないというところから、医大の整備を進めていました。それを見て、この石岡市も

八郷高校跡地について

大学医学部を誘致しては

将来、八郷高校の空き地にそうした考えを持つべきだと思います。現在、つくば市は地価が非常に高い状況ですが、八郷地区なら車で30分程度の距離です。また、誘致により人口増が期待でき、少しでも柿岡のまちを立て直すこと

につながるのではないかと思います。どうお考えか伺います。

答 八郷高校の跡地について、現在のところは、教育関係の施設として活用する計画はありません。大学誘致、医学部の誘致については、旧石岡市においても、大学誘致により人口増を図ろうと、いろいろと検討してきた経緯があります。そういった中で、いずれにしても学校を誘致することには相当の費用がかかることとなります。既存の施設として、そこに八郷高校の施設があるから、それでどうでしょうというような形にはならないと考えられ、なかなか難しいものがあると感じます。

その他の質問事項
●有明中・八郷南中・柿岡中の三校統合

水田農業における戸別所得補償について



おか の さ え
岡 野 佐 工

きたいと思います。

問 水田農業における戸別所得補償について、制度の概要の公表が昨年の1月、県の決定が3月で、6月30日までの申請締切と、大変ハードなスケジュールで進められた事業ですが、22年度の進捗状況について伺います。また、米価の下落が続く中、TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）が締結されれば、一律的な関税撤廃により、米や畜産物を中心に大きな打撃となりますが、23年度取組みの金に該当しない方が多くいたようですが、今後、この制度を理解し交付金が受けられるよう、説明会等で農家の方々の周知徹底をしていただ

答 平成22年度、制度への加入農家数は2497戸で、全農家数の43.5%。うち、最終的に交付金が支払われた農家数は1480戸、25.8%です。これは、国からの情報提供の遅れ、水稲共済加入の要件や、交付対象が販売を目的とした耕作者に限ったことなどが要因と考えます。今後は、22年度の実績で戸別補償のメリットがあったと言えることから、米価の下落が続くと言われている中で、制度への加入向上を図るため、農家の方々にこの制度のメリットを理解していただくとともに、水稲共済の加入や正式な賃貸契約の締結を薦めるなど、働きかけを行っていききたいと考えます。

その他の質問事項
●畑作物戸別所得補償



あきら せき 関 昭

答 在宅療養支援診療所

について、慢性疾患の療養に加え、自宅でのターミナルケア等への対応が期待されます。そのため県では、平成20年度から

問 現在、病院や老人ホ

ーム等で最期を迎える方が大部分かと思いますが、自宅で考える方も少なくないのと思っています。しかし、自宅となると、家族への気兼ねや、十分なケアシステムが機能していないのが現状です。そこで、緊急時の連絡体制や24時間往診できる体制が確保される在宅療養支援診療所について、本市の状況を伺います。高齢者としては、いろいろな選択肢があることが望ましいものですが、一人暮らしの高齢者に対して、いざというときに直ちに往診に向かえるような体制がとれるのかどうか、今後どのようにしていくのか、伺います。

●その他の質問事項
川又地区残土問題

高齢者への在宅ケアの

取組みについて



いち つけ 谷 重 市

問 朝日トンネルの開通

に伴う本市の観光対策について、知名度があり、市内の観光施設の中では一番来客の多いフラワーパークを核とする施策が必要と考えます。このフラワーパークについては、5年計画でリニューアルすると聞いていますが、

その内容につ

いて伺います。併せて、道の駅設置の計画について、私は観光振興の観点から、フルーツライン側への設置を希望します。

フラワーパーク周辺には整備されたトイレや休憩施設等があります。観光客の増加

が見込まれる中、1日も早く実現されるようお願いいたします。

答 フラワーパークへの

誘客を図るため、県と当局で検討会を組織し、協議を進めています。計画は26年度までの5か年を予定しており、植栽の充実、施設の充実、サービスの充実の3つの観点から、リニューアル計画を進めています。道の駅は道路利用者を対象にする休憩施設を有する施設で、一定の交通量が見込まれる国道や主要な幹線道路に設置されるもので、フルーツライン周辺が幹線道路の位置づけになるかどうかが課題と考えます。そこで、フラワーパークのトイレや休憩施設の整備など、施設の機能強化を図りたいと考えます。朝日トンネルが開通する中で、石岡市が単なる通過地点とならないよう、地域資源を連携させながら、観光の振興を図っていきたいと考えます。

朝日トンネル開通に伴う 石岡市の観光対策について



ふみ だ いけ 池 田 正 文

問 BRT事業の利用状

況について、昨年8月の開通に合わせ、歩く会などのイベントやチャラシ等による周知広報活動、地元自治会などとの協働活動により、代替バスの利用者数を上回っているとのことですが、詳細につ

いて伺います。また、茨城空港への札幌・名古屋便の就航に合わせた運行ダイヤ改正について。さらに、1日当たりの利用者数1600人の目標に向けた今後の利用促進策について伺います。地域交通の確保は、行政としても大変必要な施策だと思っています。このBRTをどのように、地域再生の手段の一つにしていけるか、見解を伺います。

答 周知広報活動として、

ポスターやチャラシ配布を行いました。また、沿線高校生による「かしてつバス応援団」や、沿線自治会による「かしてつバス利用促進協議会」と協働で、利用促進活動を行っています。利用者数は昨年11月に平日平均922名で、運行開始前の昨年4月と比べ、約1割強増加しました。ダイヤ改正として、飛行機の増便に合わせたバスの増便。J&Rとの接続改善や一部の運行所要時間の短縮などを図っています。今後はサポーター制度の導入や、協働によるアジサイ等の植栽事業を検討しています。当事業は、沿線地域の生活の足として重要なものです。高齢化社会における交通弱者の方々のためにも、今後、この交通機関を維持・確保していくため、さらなる利用促進を図らなければならぬと考えます。

かしてつ跡地 バス専用道化事業について

合併特例債事業への

取り組みについて



まえ しま たか もと
前 島 孝 元

の取り組みについて伺います。

問 合併特例債事業は合併する際の条件の1つであり、市民に約束した事業です。特例債事業は10年、平成27年度までが期限ですが、すでに合併して5年が過ぎました。21年度には事業の一部見直しとして、Aランクは継続してそのまま実施する、Bランクは財政措置ができた時点で順次実施しますという、ランクづけの説明がありました。そこで、諸々の財政を考えた場合、今後、複合文化施設について建設するのかどうか、執行部の考えを伺います。同じく特例債事業の道路5路線（貝地・高浜線、村上・六軒線、上林・上曾線、美野里・八郷線、駅前・東ノ辻線）

答 合併特例債事業は、新市都市計画に位置付けられる重要な事業であり、その取組みについての変更はありませんが、合併当時から財政が悪化していることから、それを考慮しながら取り組みなければならぬ状況です。複合文化施設は、平成21年度の事業見直しの際、Bランクに位置づけられており、特例債事業の期間内の完成は、なかなか難しい部分があります。5路線については、当市の骨格を形成する重要な路線です。現在、道整備交付金を活用し、市の財政負担を抑えながら整備を進めています。引き続き、交付金等を活用しながら整備を進めていきたいと考えます。

●その他の質問事項
「つくばね」改築事業

安全な通学路・道路の バリアフリー化について



こまつ みよこ
小松美代子

問 石岡小学校への通学路でもある神社通りは、歴史のみちとして整備された際、点字ブロックがなくなったことから、その再設置が求められています。健常者も障がい者も住みよいまちにするため、まち中のバリアフリー化の実現について、どうお考えか伺います。また、石岡つくば線バイパスの整備が進められています。歩行者への安全対策として、府中橋の歩道専用橋の新設について。また、355号バイパスの鹿の子交差点、根当交差点は今からきちんとした整備が

必要と思いますが、どうお考えか伺います。

答 神社通りは、現在、石岡市交通バリアフリー基本構想に位置づけられていることから、バリアフリー化を進めたいと考えます。歩道の自然石の撤去・改修は難しいため、歩道上への張り付けタイプか埋め込みタイプ式の誘導ブロック化等で実施したいと考えます。府中橋については、歩行者の安全がより確保できるよう歩行者用の橋の設置等を、県へ要望します。鹿の子交差点について、スクランブル化は関係機関との協議を、また、歩道の整備は用地の確保も必要となることから現地調査を行い、検討したいと考えます。根当交差点は、一部の歩道側へのガードパイプ設置や警戒標識、指示標識等の設置を、県に要望したいと考えます。

●その他の質問事項
木の住まい助成・駅周辺整備
●木造住宅耐震改修
●医療福祉費単独事業他

議案質疑

◎議案第13号 一般会計補正予算（第6号）
地域活性化・きめ細かな臨時交付金について

池田正文

問 地域活性化・きめ細かな臨時交付金8199万円について、これはどのような性格・趣旨の交付金なのか。この交付金のうち937万円、実に11.5%、1割強の部分が公用車等更新事業に充てられています。これはどの部署で使われるものなのか、事業の内容を伺います。この交付金は、経済の活性化や国民生活の安定・安心に真に役立つ施策の実施という目的があり、メニューとして①雇用・人材育成②新成長戦略の推進・加速③子育て・医療・介護・福祉等④地域活性化・社会資本整備・中小企業対策等⑤規制・制度改革ということですが、この更新事業がどれに当てはまるのか伺います。

答 この交付金は、地方公共団体が地域の実情に応じ、地域の目線に立つため細かな事業に活用できるよう創設されたもので、緊急総合経済対策に掲げた新成長戦略の推進・加速や地域活性化など5つの分野に分かれており、地域の活性化のニーズに応じた地方単独事業などが対象事業となります。公用車の更新については、使用期間が10年以上かつ走行距離が10万キロ以上を1つの基準としており、議会事務局、収納対策課、高齢福祉課が所管する公用車3台について、低公害車への更新を予定しています。該当する項目は、新成長戦略の推進・加速の中、グリーン・イノベーションの推進で、大気汚染物質が少ない、燃費性能がすぐれているなど、環境に優しい低公害車が該当になります。

徳増千尋

問 イベント広場トイレ設置工事1837万1000円について伺います。以前は観光客でも誘致できるように立派なトイレを造るものかと思っていますが、今回は大分規模を縮小したようです。イベント広場に造るということは、防犯カメラ等を設置しないとちよつと危険かとも思いますが、この工事内容について伺います。

答 現在、イベント広場内には、トイレ大小各1基と収納庫がありますが、既存のトイレについては、狭くて傷みが激しく、老朽化が進んでいることから、これに替わる男女別のトイレと多目的トイレの設置を予定しています。また収納庫も、元工場の守衛所だったもので収納



●議案第13号 一般会計補正予算(第6号)
イベント広場管理経費について

小松美代子

問 石岡市独自の奨学金事業が廃止され、その復活を強く要望していたところですが、今回の石岡市基金条例の一部改正は、石岡市奨学金基金について、奨学金事業に充てるときは当該基金を取り崩すことができるようになるというのが提案の理由になっています。そこでこれは復活を前提とした条例の改正なのかどうか伺います。それから当然

●議案第26号 石岡市基金条例の一部を改正する条例を制定することについて

答 今回の条例改正は、奨学金事業の復

ある程度は考えていると思いますが、対象者、給付か貸与か、月額幾ら程度か、その他の条件等について現段階で検討している内容があれば伺います。

活を前提としています。予定する奨学金事業は、石岡市奨学金支給規則に準じて、対応を考えます。対象者は①市内に1年以上居住する者の子弟。②健康診断により就学に十分絶え得ると認められる者。③人物、学業成績がともに優秀。④経済的に就学が困難。⑤高等学校に在学する者、と考えます。また奨学金は、1人当たり年額8万円で、9名分予定します。その他の条件として、本人の属する世帯の1年間の総所得が、茨城県育英奨学生推薦基準額以下であること。本人の選考基準として、学習、生活などの態度・行動が生徒にふさわしい者であること。前年度の学習成績の評定が5段階評価で3・0以上であることとしています。なお、対象者の選考は、石岡市奨学生審査会で選考していきたいと考えます。

●その他の質問事項
一般会計補正予算

平成23年

第2回 定例会のお知らせ

第2回定例会は、右記の日程で開催する予定です。なお、先の東日本大震災の影響で、市役所本庁舎3階の使用が制限されたため、八郷総合支所での開催となります。

なお、八郷総合支所の本会議場は現在、修繕工事を行っており、その状況によっては、八郷総合支所内の会議室に変更になる場合があります。

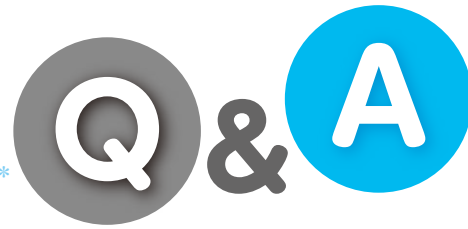
また、本庁舎1階ロビー、及びまちかど情報センターでの議会中継は当面の間、休止となります。

ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。

月 日	曜	主 な 内 容	場 所
6月14日	火	議案の提案理由説明など	本会議場
20日	月	一般質問	//
21日	火	一般質問	//
22日	水	一般質問	//
23日	木	議案質疑	//
24日	金	都市建設・教育福祉委員会	委員会室
27日	月	総務企画・環境経済委員会	//
28日	火	議会運営委員会	全員協議室
29日	水	議案の採決など	本会議場

※石岡市議会はクールビズに取り組んでおります。

新年度予算



予算特別委員会では平成23年度の各会計予算について、次のような質疑が行われました。

Q かつて沿線地域公共交通戦略会議負担金について、戦略会議の23年度の事業は。

A 利用者を増やすための利用促進策が最も重要と認識しており、引き続き実証運行の補助、チラシ作製、開通1年を経過してのシンポジウム等を予定しています。



Q 救急救命士について、将来的に何名を想定して養成するのか。

A 救命率の向上を図るため、現在5支所5台の高規格救急車に対し最低1名、全体で30名を計画しています。

Q 防火水槽設置工事について、その設置場所と大きさは。

A 鹿の子地区（山王川南側）、園部地区（園部中学校前）、野田地区（八郷総合運動公園先）の3か所を予定しており、容量は40トンです。

Q 農力アップ推進事業の中の、農産物等販売PR委託料について、どういった事業を行うのか。

A 現在ある農畜産物のブランド力を生かしながら、一挙にPRを展開しようとするもので、具体的には、行動戦略の計画策定と、東京やつくば市を中心とした商談会、物産展への出店により、石岡の農畜産物として統一的なPR、販売促進を行い、1つでも多くの販路を確保したいと考えます。

Q 石岡市企業誘致雇用促進奨励補助金の内容は。

A 平成25年3月31日ま

でに事務所及び事業所を新・増設し、かつ本市に住所を有する従業員を1年以上かつ5名以上（中小企業は3名以上）を雇用した場合に、1人当たり年額10万円を奨励金として交付するものです。

Q 農協施設建設補助金2897万9000円について、その内容は。

A この補助金は、営農指導機能の拡充、営農支援活動の強化により、地域農業の活性化に寄与するという観点から、営農担当職員が配置される、ひたち野農業協同組合が建設する資材センターの事務所部分について、その営農担当職員数の割合に応じた建設費用を助成するものです。

Q 観光施設整備等基金とは、何のためのどういう基金か。

A 観光施設整備等基金は、ゆりの郷の入湯税を積み立てているもので、

ゆりの郷の施設の整備等に使うことを目的にしています。

Q 石岡地方斎場の建設について、平成23年度の事業内容は。

A 平成23年度は、本体建設工事と火葬炉築炉工事、用地造成工事、埋蔵文化財発掘調査の報告書作成委託を予定しているとのこと。

Q 国民宿舎の今後のあり方について、宿泊施設として充実させるのか、休憩・日帰りという形か。



A 八郷地区には、「つくばね」のように観光の

連携を図れるような宿泊施設が他になく、また、大規模な宴会に対応できる施設も他にないことから、宿泊機能、休憩機能とも必要かと考えます。

Q 三村簡易水道の有収率と、配水管理設工事の内容について。

A 有収率は平成21年度の実績で68・1%です。排水管理設工事は、平成23～27年度にかけて予定する50ミリ以上の配管の敷設替えです。有収水量は漏水に起因していることから、この敷設替えにより、有収率は改善されるものと考えます。

Q 柿岡中学校改築事業として計上される予算の内訳は。

A 23・24年度で校舎を建築する計画であり、今年度分の建設工事と、これに伴う武道場の解体工事。また現在、学校敷地の一部が借地であることからその用地と、北側道

路用地の購入を計画しています。

Q 新規事業である生活管理指導事業とはどういう事業か。

A 介護保険制度上の要支援、要介護には該当しないが、日常生活に支障のある所得の低い高齢者の方を対象に、生活管理指導員を派遣し、在宅生活支援を行うものです。

Q 石岡市で生活保護を受給している世帯数は。

A 2月現在で629世帯、840人になります。

Q 子宮頸がんワクチン接種の対象者の年齢は。

A 中学1年から高校1年までの4階層を予定します。

Q 特別養護老人ホームのぞみについて、入所を希望される方で、待機されている方は何名になるのか。

A 2月18日の入所判定会議時の待機者数は131名です。

Q 就学援助制度について、この制度の周知をどう図っているのか。

A 現在は学校を通して、あるいは民生委員を通しての広報という形ですが、その他の広報として、どういう手立てがいいか、有効な手段を検討していきたいと考えます。

Q 合併処理浄化槽設置事業費補助金について、23年度は何基分の設置を見込んでいるのか。

A 5人槽が83基、7人槽が53基、10人槽が2基の計138基を予定しています。

Q 駅周辺整備事業について、実施設計委託料が計上されていますが、工事完了までの全体のスケジュールは。

A 実施設計は駅橋上化、

並びに自由通路についてであり、23年度はJRに実施設計の委託を行い、事業費等を確定させ、24年度には具体的な工事として、JRとの施工協定の締結、その後JRによって工事に着手し、26年度の完成を目途に工事を進めていただけるよう、協議をしています。



額と、5件分の補助見込み額の計20世帯分として869万7000円を計上しています。

Q 八郷・新治線整備委託について、予定どおり進んでいるのか。

A 工事等は予定どおり進められており、24年度末の供用開始についても現状では予定どおり進められると聞いています。

Q 臨時雇人賃金について、正規職員と同じような仕事をしていて、かなり賃金が抑えられている必要などところについては職員の採用をお願いしたいが、どうお考えか。

A 職員の適正規模、年齢バランスは保っていきたいと考えます。職員が多ければ、市民サービスを上げることにつながると思いますが、財政的な部分を考えた場合、柔軟な雇用形態があってもいいのではないかと認識します。

その他の質問

- 補助金に対する基本的な考え方
- 都市計画税
- 元氣いしおかPR看板設置委託料
- 電算業務委託料の増額
- 茨城空港利用促進協議会負担金
- 消防団関係活動経費
- 市債残高
- 区長・協力員関係経費
- 八郷総合支所敷地の借地料
- 公用車維持管理経費
- 町界町名整理事業
- 市民協働まちづくり推進に要する経費
- 耕作放棄地再生利用補助金
- 観光道路清掃委託料
- 環境問題のPRのため、資源ごみ回収補助金の積極的な拡大
- 石岡地方結婚相談所の実績
- 森林機能緊急回復整備事業における間伐業務委託料
- 街路灯・防犯灯のLED化による電気料金の減額
- 日本スポーツ振興センター負担金
- 東地区公民館の借地料
- 給食センターの給食配送委託
- スクールバスの運転業務委託
- 橋梁長寿命化修繕計画策定委託料
- 急斜面地崩壊対策事業
- 国道6号バイパス建設促進事業
- 公営住宅入居者の選考基準
- 下水道・農業集落排水事業の負担金・使用料の徴収率
- 合併市町村幹線道路緊急整備支援事業
- 八郷庁舎の有効活用
- 今後の公共交通のあり方
- 他

請願 & 陳情

平成23年 第1回
定例会で議題とし、
委員会へ審査を付
託した請願・陳情

ハッ場ダム等水源開発の 検証検討について

要旨 貴議会におかれましては主旨をご理解いただき、茨城県知事に対し意見書を提出していただきますよう要望します。

①茨城県も参加するハッ場ダムなどの検証検討を科学的・公正にされるよう県に求めること。

②県企業局との契約水量を実態に合わせ見直し、ハッ場ダムなど無用な水源開発から撤退し、水道料金の引き下げを求めること。

審査結果 不採択

家族従業者の人権保障のため「所得税法第56条の廃止を求める意見書」提出を求める陳情

要旨 所得税法第56条は、

日本国憲法の法の下での平等（憲法第14条）、両性の平等（同24条）、財産権（同29条）などを侵しています。税法上では青色申告にすれば、給料を経費にすることができますが、同じ労働に対し、青色と白色で差をつける制度自体が矛盾しており、基本的人権を侵害しています。ドイツ・フランス・アメリカなど、世界の主要国では『自家労賃を必要経費』としている中で、日本だけが世界の進歩から立ち後れ、取り残されています。私たちは税法上も、民法、労働法や社会保障上でも「一人ひとりが

人間として尊重される憲法に保障された」権利を要求します。貴議会において、主旨を充分にご理解いただき、国の関係機関に意見書を提出していただきますよう要望します。

審査結果 継続審査
（※議員改選により審議未了）

通学路の拡幅・整備についての陳情

要旨 当地区内の道路は通学路として利用されておりありますが、狭あいでは整備も不十分です。そこで、子どもたちや利用者の通行の安全をはかり、地域住民の生活基盤の整備のために、通学路の拡幅・舗装整備等を要望します。

審査結果 採択

核兵器廃絶平和都市宣言

私たちは、戦争のない平和な社会を強く望んでいます。

家族や親しい友人と笑顔で過ごす日々
そんなかけがえのない生活を一瞬にして奪ってしまう戦争の悲劇
なかでも広島・長崎に落とされた原子爆弾の恐怖を私たちは決して忘れてはなりません。

しかし、この「平和への想い」に反し、今日も世界のどこかで人が傷つき、命を奪われ、核兵器の脅威におびえています。

今、私たちは戦争という名の“暴力”を否定するとともに、核兵器を持つ国々が、地球規模の悲劇をもたらす可能性のある武器を使用することなく廃棄することを求めます。

私たちを育てくれるこの石岡市の自然と恵み豊かな大地を、次の世代を担う子どもたちへと引き継いでいくために、そして、私たちの声が、全世界の人々と結びつき、やがて大きな「平和への想い」へとつながっていくことを願い、ここに「核兵器廃絶平和都市」を宣言します。

石岡市は 核兵器廃絶平和都市を宣言します

石岡市議会は平成23年第1回定例会において、『核兵器廃絶平和都市宣言』を全会一致で可決しました。

常任委員会の活動

●石岡市議会には、4つの常任委員会が置かれています。委員会は、それぞれ担当する部門をもっていて、それぞれが、市の業務内容の調査や、議案と請願陳情の審査などを行っています。ここでは、各委員会の活動内容をご報告します。



●総務企画委員会

住宅密集地における消火作業について

3月11日の委員会において、付託された補正予算案について審査を行いました。消防水利施設整備事業費の減額が提案されている中で、委員からは、「過日発生した国府地内の火災発生における消火作業に際して、消火栓で十分な放水ができなかったのではないか。今後、水道管のバイパス化や別系統での敷設を検討すべき。」との質疑がなされ「湖北水道についてはすでにバイパス化がなされています。しかし、多くの市民が水道を使用する時間帯に重なったことから、一時水圧が上がら

なかった点を考慮し、今後、住宅密集地における防火水槽の設置について、地域の理解をいただきながら進めていきたい。」との答弁がなされ、了解しました。

そのほか、今期定例会で当委員会に審査付託されました5議案についても「原案可決すべきもの」と決しました。

●教育福祉委員会

3中学校統合の進捗状況について

統合に向けて進められている有明中・柿岡中・八郷南中学校の統合検討会の協議内容について報告を受けました。

第2回統合検討会では、「統合の方法は新設統合

とすること」、「統合の時期は、平成25年4月とする」と、「統合校の位置は、現在の柿岡中学校を改築し統合校とする」と、「通学手段の確保としてスクールバスを運行すること」、「学校名は新たな学校名を検討すること」とについて承認され、今後具体的に進めていくとのことでした。

第3回統合検討会では、「学校名の選定は、公募により行い、対象は統合する学区の児童・生徒及び地域住民とすること」、「公募された学校名は、統合検討会の中で最終案を決定していくこと」が確認されたとのことでした。

3中学校の統合により、学校規模の適正化が図られ、教育環境が向上する

よう、当委員会として、引き続き調査をしていきます。

●市民経済委員会

市民との協働まちづくりについて

当委員会は、3月16日に市民との協働まちづくりの推進についての調査を実施しました。

この事業は、市民からの要望に応えサービスを提供するというこれまでの受身の行政ではなく、市民と行政がそれぞれの知識や技術を活かし、協力してまちづくりを進める事業です。

会議では、執行部からこの事業の基本方針となる「石岡市市民協働まちづくり推進への指針

(案)」について説明がなされました。

委員からは、「3月に指針を策定し、来年度から事業を進めるには、市民への周知期間が短すぎるのではないか」との質問に、執行部からは「23年度において市報等によるPRとあわせて、講演会等の実施やまちづくりに必要な人材の育成などの事業を進めていきたい」との答弁がありました。さらに委員からは、「協働まちづくりに向けた執行部の組織や市民との情報の共有化などの体制づくりについても十分検討して進めてほしい」との意見が出されました。

そのほか、3月11日に発生した東日本大震災による所管の施設の被害状況等について報告を受けました。

●都市建設委員会

石岡小美玉スマートーCと、岩間・八郷線の開通について

3月16日に開催した委

員会では、都市建設部が取り組む道路事業の供用開始時期について、報告がありました。石岡・小美玉スマートーCについて、当初予定されていたセレモニーは中止としますが、供用開始は24日の予定で進めているとのことでした。また、岩間・八郷線については、平成13年度から事業が行われてきましたが、22年度で石岡区間2856メートルの工事が完了し、4月早々の開通を予定しているとの報告がありました。

そのほか、当委員会に審査付託された7議案は、いずれも「原案可決すべきもの」と決しました。



常任委員会・議会運営委員会の構成

石岡市議会では、議案や陳情などの審査を少人数で能率的・専門的に進めるため、所管ごとに4つの常任委員会（総務企画・教育福祉・環境経済・都市建設）を設置しています。また、議会を円滑に運営するため、各会派の代表者による議会運営委員会を設置し、議長からの諮問事項や運営上の課題の協議、議会のルールづくりなどを行っています。

各委員会の構成

	総務企画	教育福祉	環境経済	都市建設	議会運営
主に審査 する内容	総合計画、行財政改革の実施状況など企画に関する こと、税金に関する こと、市の人事 制度、消防、防災 などについて調 査、審査します。	市内小中学校や 幼稚園に関する こと、文化財の保存・ 活用や文化の振 興、子どもやお年 寄りの福祉に関 することなどを調 査、審査します。	農業や商工業の 振興、市民との協 働によるまちづく り、ごみや廃棄物 などの環境問題、 防犯などについて 調査、審査します。	道路や下水道、 公園などの整備、 都市計画、開発行 為、市営住宅の管 理運営などにつ いて調査、審査し ます。	議会の運営に関 する事項や議会の 議規則、委員会条 例等に関する事項 について協議しま す。
委員長	岡野孝男	菱沼和幸	鈴木行雄	高野要	徳増千尋
副委員長	山本進	岡野佐工	島田久雄	関昭	山本進
委員	徳増千尋	村上泰道	鈴木米造	前島守雅	島田久雄
委員	池田正文	勝村孝行	磯部延久	山口晟	岡野孝男
委員	小松豊正	野口伸隆	塚谷重市	関口忠男	池田正文
委員	谷田川泰	岡野孝雄	玉造由美	大槻勝男	関昭

一部事務組合・地方公営企業・広域連合議会議員の状況

石岡市は、他自治体とその事務の一部を共同で処理するため、4つの一部事務組合に参加しています。また、小美玉市と共に地方公営企業「湖北水道企業団」を運営し、旧石岡の一部地域の給水を行っています。

これら一部事務組合・地方公営企業等にはそれぞれ議会が設置されており、その議員には、構成市の議会から選出された議員が就くことになっています。

一部事務組合議会議員・地方公営企業議会議員・広域連合議会議員の選出状況は、以下のとおりです。

●湖北水道企業団（石岡市議会選出6人）

選出議員／島田久雄 菱沼和幸 池田正文 村上泰道 勝村孝行 岡野孝雄

●湖北環境衛生組合（石岡市議会選出7人）

選出議員／高野要 山口晟 鈴木米造 塚谷重市 大槻勝男 谷田川泰 玉造由美

●霞台厚生施設組合（石岡市議会選出5人）

選出議員／徳増千尋 岡野佐工 山本進 小松豊正 野口伸隆

●石岡地方斎場組合（石岡市議会選出6人）

選出議員／鈴木行雄 前島守雅 高野要 山口晟 磯部延久 岡野孝男

●新治地方広域事務組合（石岡市議会選出3人）

選出議員／関昭 関口忠男 岡野佐工

●茨城県後期高齢者医療広域連合（石岡市議会選出1人）

選出議員／磯部延久



石岡市議会は、**八郷総合支所に移転しました。**

東日本大震災の影響で、市役所本庁舎3階の使用が制限されたことから、議会は当面の間、八郷総合支所へ移転することになりました。

今後、定例会や臨時会、各常任委員会等は、八郷総合支所での開催となります。また、請願・陳情や文書の受付等も、八郷総合支所（4階／議会事務局）となりますので、よろしくお願いいたします。